

決意新たに 二十歳の主張



「成人の日」前日の1月13日、登米市成人式が登米総合体育館で開催されました。
今年の成人式は、昨年より58人少ない1,210人(男633人、女577人)が対象。このうち式典には、晴れ着やスーツに身を包んだ987人の新成人が出席しました。
式典では、大久保伸哉さん(南方)と小野寺彩香さん(中田)が大人になった自覚と責任を感じながら誓いの言葉を披露。新成人を代表して、伊藤和也さん(東和)、青沼彩夏さん(中田)が二十歳の主張を述べました。



「若い力で素晴らしい未来をつくり上げたい」と誓った大久保さんと小野寺さん

あこがれの職に就けるよう切磋琢磨 仕事で得た収入の一部を福祉施設に

わたしの夢は、「VFXディレクター」になることです。VFXとは、コンピュータグラフィックスの技術を使用した特殊効果で、実写だけでは表現が難しい映像を作ることをいいます。

活躍の場は、映画・コマーシャル・プロモーションビデオ・ゲームなど、多岐にわたります。映像は多くの人々の知恵と努力があつて初めて出来上がります。わたしは「大勢の人で一つのものを作り上げていく一体感」という、学園祭のような感じにあこがれ、この道に進もうと思いましたが、夢を追う中で、理想と現実の違いに悩むことも数多くあると思います。しかし、「千里の道も一歩から」とい

うように、一歩を踏み出さなければ何も始まりません。あきらめたらそこで終わり。結果は確かに大事ですが、一番大事なのは結果に至るまでの過程なのではないでしょうか。その過程の中で、自分がどれだけ成長したかが重要だと思っています。

それに、過程がしっかりしていれば、それなりの結果も自然についてくるはず。わたしは夢がかなったときは、仕事で得た収入の一部を児童養護施設などに寄付したいと思っています。それが、成人を迎えた一人の大人として、できることの一つだと思っております。

これからも夢の実現に向け、日々切磋琢磨して頑張りたいと思います。

このたびは、心温まる盛大な式を開催していただき、誠にありがとうございます。また、多くの皆さんから励ましとお祝いをいただいたことに對し、とても感謝しています。

わたしは、今年の3月に専門学校を卒業し、4月から社会人になります。社会人になると責任が伴ってくるのだと考えます。やりがいのある充実した仕事をしていても、想像を超える悩みや壁にぶつかることがあるかもしれません。その悩みや壁を乗り越えれば、自分の自信につながると思いますが、現実から逃げず自分のペースで歩んでいくことが今後の目

20年間育ててくれてありがとう これからも一番の良き理解者で

標です。そして、人の気持ちや想いを理解できる大人になりたいと思っています。

成人式を無事に迎えられたのは、家族や親戚、友人、そして誰よりもお母さんのおかげだと思っています。わたしのためを思い言ってくれたこと、しかつてくれたこと、対して反発したこともありましたが、わたしはお母さんが親で本当に良かったと思っています。20年間育ててくれたことに、言葉では表しきれないくらい感謝しています。本当にありがとうございます。これからもわたしの一番の良き理解者でいてください。

成人して世間から大人と認められましたが、まだまだ未熟ですので、今後ともご指導をお願いします。



伊藤 和也 さん (東和町米川第3区)



青沼 彩夏 さん (中田町長崎)